

# A-8

各電源の接続方法

## ハネ付ジャックレールを使って接続する(当社オリジナル)

### 養生やコーキングは不要。

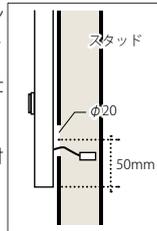
壁面に14mm幅のハネ付ジャックレールをはめ込むだけなので、施工に手間がかかりません。

また、ハネ付なので、ボードのコバの仕上げが簡単です。

ジャックピッチは50mmきざみで250mm~450mmまでの5種類を用意。



- 1 サポート柱を取り付けたところから、約100mm程度離れたピッチでジャックレール用にスタッドを立て、天井裏などからジャック用コード(LU-RD)をおろしてください。スタッドの横と正面にφ20程度の穴を開けてください。ルーペルハネ付ジャックレール(LU-RL-T)が収まるサイズの溝を残して壁面を仕上げてください(14.5mm幅)。レールホルダー(LU-RH)をスタッドにビス止めます(ジャック毎に1個使用)。LU-RL-Tとジャック用コード(LU-RD)の配線をつなぎ、LU-RL-TをLU-RHに取り付け、スタッドにビス止めます。

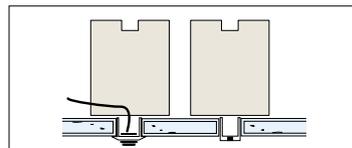


⚠️ スイッチング電源 320W (LU-SWC 320) はコード (LU-RD) 容量オーバーのため使用できません。LU-SWC 60・90・120・150・240をご使用ください。



SST-2	サポート柱・ビス	① LU-SWC	LU-SWC-HC	② LU-RD
サポートスタッド 65 ASF-10 など 1050	スイッチング電源 サポート柱&固定ビス 1000 1120 1150	60W・90W・ 120W・150W・ 240W	スイッチング電源 放熱用カバー	ジャック用コード

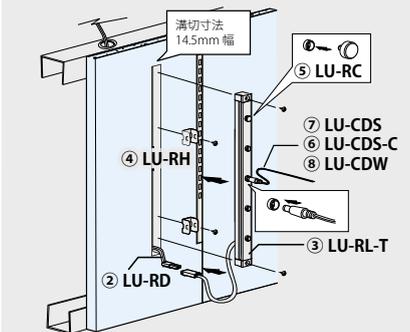
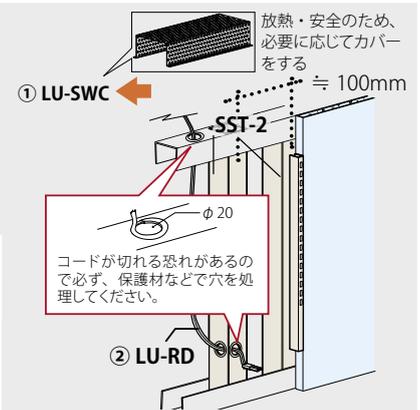
- 2 パネルを仕上げ、サポート同様、必要に応じてコーキングなどの目地処理をします。使わないジャックにはLU-RCを取り付け、カバーしてください。



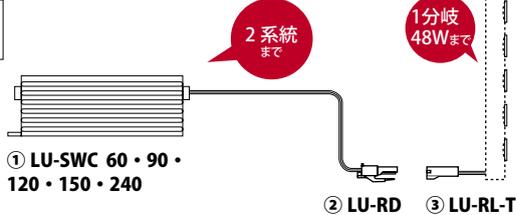
ダブルサポートなど、1本のスタッドでは施工が難しい場合は、サポートとジャックレールそれぞれにスタッドをご準備ください。



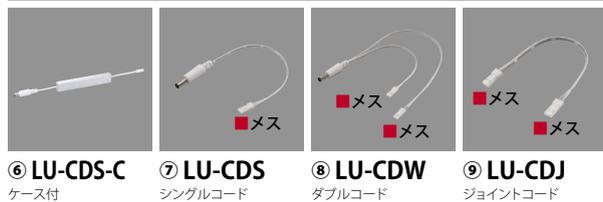
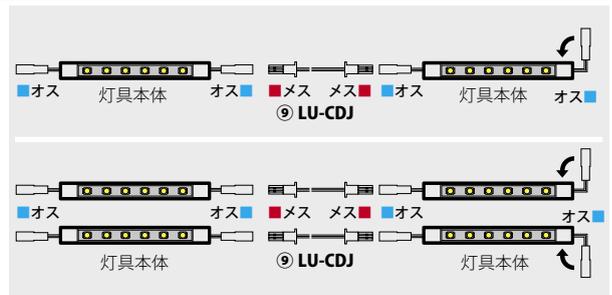
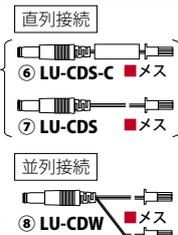
③ LU-RL-T ルーペルハネ付ジャックレール  
④ LU-RH レールホルダー  
⑤ LU-RC レールキャップ



### 資



⚠️ ① LU-SWC は発熱しますので、密閉された場所には設置しないでください。故障の原因となります。設置の際は通気口を設けるなど放熱性を十分に考慮して取り付けしてください。



⑥ LU-CDS-C ケース付シングルコード  
⑦ LU-CDS シングルコード  
⑧ LU-CDW ダブルコード  
⑨ LU-CDJ ジョイントコード

<LU-SWC60> 表(A) (W) × 灯数 (+ 表(A) × 灯数 + …) が合計	42W 未満
<LU-SWC90> 表(A) (W) × 灯数 (+ 表(A) × 灯数 + …) が合計	63W 未満
<LU-SWC120> 表(A) (W) × 灯数 (+ 表(A) × 灯数 + …) が合計	84W 未満
<LU-SWC150> 表(A) (W) × 灯数 (+ 表(A) × 灯数 + …) が合計	105W 未満
<LU-SWC240> 表(A) (W) × 灯数 (+ 表(A) × 灯数 + …) が合計	168W 未満

(1分岐 48W まで)

⚠️ 使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数 × 灯数 = 総ワット数)  
総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の70%)

設計・施工・  
発注・取扱上の  
留意点

### 施工上

### 資

専門業者にご依頼ください  
配線については、有資格者による施工が義務付けられていますので、必ず専門業者にご依頼ください。



注意  
連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

### 24V

正しく接続してください

灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された当社指定の電源、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

